

教科(地歴公民)

1、家庭学習のやり方

- ・ 授業に臨む前に次の授業にあたるページを1回読んでみる。できれば音読し、教科書の本分中に書かれている太字の言葉を英単語を覚えるように何回か書いてみる。社会に限らず、高校の学習というものは新しい言葉を覚えることである。
- ・ また、社会科という科目は非常に現実の世界に密接に関連した部分があり、教科書だけでは学べない部分もある。普段からテレビでニュースや歴史を題材にしたドラマ（NHKの大河ドラマとか）、ドキュメンタリーや特集番組を見ることで、世界や歴史に対する興味を深めたい。また現実のニュースをみたりすることで、教科書に書かれている内容が単なる書物の知識ではなく、現実に生きた言葉であるということがわかるはず。また歴史関係や戦争関係の映画をビデオで見たりするのも興味をもつきっかけになる。
- ・ 副教材にカラーの写真や地図が載っているので、そういうものを見て、興味をもつきっかけをもつこともできる。

2、授業でのノートの取り方

- ・ 先生が板書したことは最低ノートやプリントに写す。ただし、ノートをとることを目的としてはいけない。（ノートを写すだけならコピー機と同じである。）先生の話とノートの内容を結びつけることを意識する。
- ・ 予習をしていると、板書をするのが非常に楽になる。

3、試験勉強の仕方

- ・ 普段の予習・復習をしっかりやっていたら、テスト1週間前でも大丈夫である。また、普段のテスト勉強としては、各出版社から出ている一問一答形式のものを利用するとよい。
- ・ さらにテストで高得点を取りたいものはテストの2週間前から試験勉強をスタートする。集中的にやるよりも社会は暗記ものが多いので、他の教科と組み合わせて、毎日少しずつやったほうがよい。

4、受験勉強の仕方

- ・ 一つの参考書だけではなく、複数の参考書を使い、自作のノートをつくる。
- ・ 問題集も複数使ってできるかぎり多くの問題を解くこと。問題集は薄いものでもよい。
- ・ 社会科は範囲が広い科目が多いので、受験を目指すのであれば、普段からの学習がものをいう。受験というものを意識するような時期になってから取り掛かったのでは手遅れである。